**第1回大阪府日本万国博覧会記念公園運営審議会記録《要旨》**

○日時　　平成30年６月25日（月）10：00～11：00

○場所　　万博記念ビル４F　第二応接室

○出席委員等　 相原委員、国枝委員（会長）、玉置委員、

南雲委員、山下委員、山田委員

○事務局　　府民文化部副理事、万博公園事務所長　ほか

＜会長の選出＞

・玉置委員の推薦により国枝委員を会長に選出

・会長代行に玉置委員を選出

＜部会について＞

・「魅力創出部会」、「緑整備部会」のうち「緑整備部会」のみ引き続き設置。

・「緑整備部会」の部会長については、国枝会長が山田委員を指名。

＜事務局からの説明＞

・日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン（平成27年11月策定）及び万博記念公園の現況（平成29年度の取組み等）について

＜質疑応答＞

**玉置委員**

　将来ビジョンについては、年号の変更に伴い修正が必要。

**事務局**

　国も統一的に西暦表記を検討しているところ。政府の方針を踏まえて修正を行う。

**山下委員**

入園者数が増えていることはいいことだと思う。私は京都に住んでいるが、観光客が多すぎると感じており、各地でもそのような声が出てきているかと思う。万博公園においても、観光等で人が増えることによるデメリットや地元住民・施設への負荷を含めて2020年入園者数300万人以降の50年について考えていくべきかと思う。

また、昨年度実施された大阪文化芸術フェスティバルについては、予算が決まってから実施するので大変だとは思うが、中身が本当に万博公園ならではのものだったのか検討し直さないといけないと思う。会場として広いから万博公園でやったというものも多く含まれているのではないか。せっかく70年万博で皆さんの共通の記憶としてあるにも関わらず、今流行っているものだけを集めた感がある。万博公園でやるべき文化イベント・文化芸術について、指定管理や民間へ移しつつあるのであれば２年がかりで考えるなど、予算の決定に捉われない継続的な計画と集客以外のところに焦点を当て文化で目指すものを設定しないと、ただ人が集まるだけの場所として消費されることになってしまう。素晴らしい文化と施設を持っているので、本当にもったいない。万博公園は単なる貸し会場ではないので、担当課に対してもっとしっかりと意見していくべきである。

**事務局**

　昨年度の入園者数225万人については土日に集中しており、天気にも左右される。特にガンバ大阪の試合と大型イベントが重なった際は、周辺道路の通行に影響が出るが、地域住民の皆さまからの苦情はそれほどいただいていない状況。しかし公園管理者としては、課題であると認識している。

文化フェスティバルについては、大阪府全域で行っているもの。万博公園として発信すべき文化については、太陽の塔内部公開を契機にイサム・ノグチの噴水やパビリオンをどう活かしていくかの検討を始めているところ。大阪府が承継するまでは「緑に包まれた文化公園」に力点が置かれていたが、今後はレガシーの復活という部分にも力を注いでいきたいと考えている。その中で、万博において発信すべき文化を模索していきたいと考えている。

**玉置委員**

おおさかカンヴァスの第7回は万博公園で実施して、ユニークなアート展開が出来たのではないかと思っており、いろいろ可能性はあると考えている。

以前にインバウンドの入園者比率はどれくらいかなどの調査をお願いしたが、その後状況はどうでしょうか。実際の入園者は近隣の方が多いと思うが、大阪府としてはインバウンドが重要。2020年に、東京オリンピック・パラリンピックが開催される。これに併せて、全国47都道府県で同時に文化プログラムが展開されるという話になっていると思うが、外国の方に日本を知っていただくということであると思う。大阪には現在約1,100万人のインバウンドが来られているが、ミナミに集中しているので、万博などに足を運んでいただき分散させることが理想的だと考えている。

　また、大阪万博50周年の取組み・方向性について教えてほしい。

**事務局**

インバウンドについては、ミナミ・大阪城と比べると外国人の方は少ないと感じている。そのため、サイン・マップ等の多言語化、大阪周遊パスへの参加などの取組みを進めている。

インバウンド調査については、入園者数が平成28年度220万人中3.6万人、平成29年度225万人中４万人であった。調査については、目視や外国人の方の専用ゲートの設置やヒアリングによるニーズ調査を行った。目視ということでアジア系の方の把握は難しいため、調査よりは少し多いのではないかと考えている。秋からは指定管理者に管理運営を移行するため、専門分野の企業と協力して次の施策を構築していきたい。

50周年の取組みについては、現在内容等を整理しているところ。形ができあがったところで本審議会にてお諮りしたいと考えている。

**玉置委員**

太陽の塔内部についてプレス等に話を聞くと、皆さん内部の写真が取れないので、情報拡散には致命的だとおっしゃっている。

安全性の観点から、階段や２階より上からの撮影が禁止であることは理解できるが、生命の樹の下やプロローグ空間などは安全性が担保されるのではないか。インバウンドの人たちは圧倒的にSNSで来ると、色々なところで実証されている。トリップアドバイザーやTwitter、Facebookなどに内部の写真が掲載されることが重要。現在、他の博物館や美術館でも写真撮影については前向きに検討されているので、万博公園においてもご検討いただきたい。

**事務局**

　マスメディアの取材時には撮影を許可している。しかし、マスメディアより個の発信が重要となっていることは承知している。太陽の塔は財団が著作権を持つため、財団と協議を行っていきたい。

**玉置委員**

青山の岡本太郎記念館は撮影自由、川崎市の岡本太郎美術館は撮影禁止となっているので、財団の中で何か線引きがあるのかもしれない。

**山田委員**

　金沢の21世紀美術館は、作品の商業利用については大変厳しいが、SNSでの拡散は可能。商業利用と峻別すれば可能ではないか。

**相原委員**

　オリンピックなどもアスリートの肖像権は厳しいが、それ以外は発信していくというのがグローバルスタンダード。発信していく方が万博公園のブランドイメージも上がると思う。

　万博公園はバリアフリー化などユニバーサルデザインに力を入れておられるのかなとは思うのですが、誘導サインなどの計画等、実施状況について教えてほしい。

**事務局**

　現状、日本庭園のきつい勾配や古いトイレなど、園内にはいくつか課題があると認識している。トイレ及びサインの改修については順次行っていく予定であり、まずは50周年までに太陽の塔を中心とした来園者が多いポイントを集中的に改修していく予定。

　また、外国の方が利用しやすくなるようWi-fi環境の整備を行っていく。このようなハード整備は府で行っていくが、それを指定管理者にどのように活用していただくかを現在協議している。

**山下委員**

インバウンドについては何を目的に来るか考える必要がある。自分が海外旅行に行く際は一過性のイベントではなく、美術館など常時空いている施設を目的にする。万博には民博、民芸館や日本庭園など常設の施設等の魅力発信が課題であり、常日頃のポテンシャルをどうキープしていくかが重要である。そう考えると意識が高くお金を持っている方をターゲットにしたブランドの作り方が実は合うのではないかと思う。

**玉置委員**

太陽の塔内部は予約制なので入れなかった人にも楽しんでもらうことが重要。

パビリオンを太陽の塔ミュージアムに名称変更するなど、太陽の塔の内部・歴史などにフォーカスしたものにしてはどうか。

**南雲委員**

休みの日に総合案内所前で少し休憩していると、海外の観光バスから多くの観光客が降りてきて万博公園（中央口）に向かい、10～20分で帰ってくるという光景を何度も見た。観光のルートとして海外の方にも見ていただけるようなPRなど工夫が必要。

また、入園者数は225万人であるが、スタジアムや競技場、EXPOCITYなどの周辺施設を含めるとより多くの人が万博周辺に集まっており、土日はどこもいっぱいである。スタジアムから千里丘方面へ抜ける道については非常に危ないと以前にお話したら、最近は改善していただいたが、人をスムーズに流せるように考えなければならない。

　繁忙期については、近隣市の駅から万博までのバスを出すなど、車以外のアクセス手段の充実を考えて欲しい。

以前にお願いしていたが、外周道路の木がかなり伸びてきており雨が降ったら水が溜まったりなどしている。改善していただけると伺っていたが、状況は如何か。

**事務局**

　自然文化園の入園者数は年間225万人、EXPOCITYは公表されていないが、年間2400万人、阪大病院の外来数は60万人という状況であり、年間225万人を遥かに越える方が周辺にお越しになっている。

外周道路の樹木については、茨木土木事務所と相談しながら刈り込みを行っている。茨木土木とも連携しながら改善を行っていく。

**国枝委員**

観光振興についてはどうしても交通問題が必ずついてまわる。また、住民の意識調査も必要かと思う。住民の意識が観光にポジティブなところが、観光は成功すると実証されているので、その点ご配慮いただきたい。

インバウンドについては、万博に来ていただいて、何を体験して、見て、知っていただくかというところをしっかりと把握して誘客を行うことが重要。これからその辺りを指定管理者と協議していただき、発展させてほしいと思う。